



**【26 卒看護学生対象】就職活動調査[速報版] 就活に ChatGPT を使う学生は6割程度/入職の決め手は現場の雰囲気・先輩の人柄/新卒の病院で長く働く傾向/奨学金利用は半数以上で総額 300 万円以上の借入**

株式会社文化放送キャリアパートナーズ(本社:東京都港区、社長:平田真人)は、看護学生のための就活サイト「文化放送ナースナビ」の会員(2026 年卒看護学生)を対象に、「就職活動調査」を実施しました。

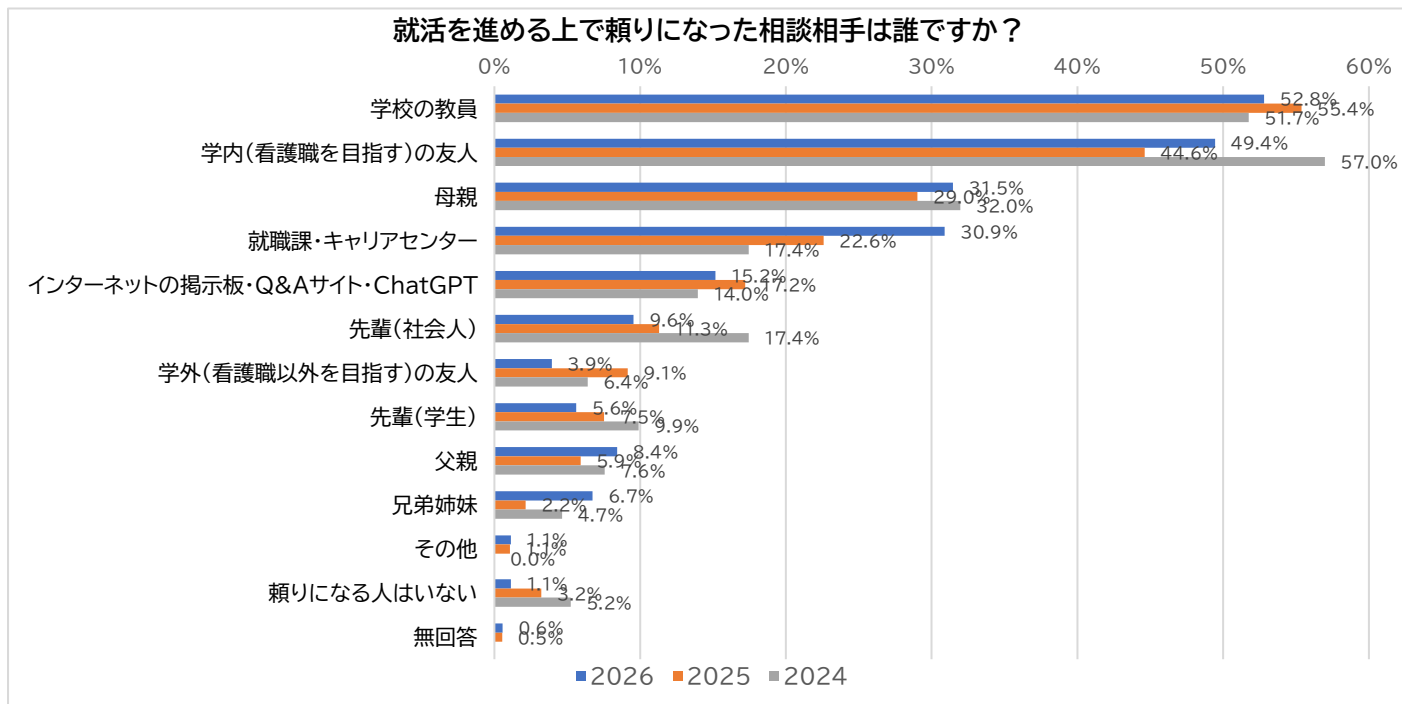
本調査は過去 10 年以上にわたり、看護学生に対して、年に 1 回就職活動の動向を調査しているものです。今回の調査は、「文化放送ナースナビ」の会員を対象に 2026 年 1 月 28 日~2 月 10 日に WEB アンケートを実施し、2026 年卒看護学生 178 名の回答を得ました。参考資料としてその結果を報告いたします。経年比較ができるデータを掲載しているものもありますのでご確認ください。

概要は以下の通りです。

- 就活を進める上で頼りになった相談相手は学校の教員が首位をキープ。就職課・キャリアセンターも今年は大きく上昇
- ChatGPT を実際に就活に利用したのは 6 割程度にとどまる
- 就活におけるタイパ・コスパ意識は 7 割が持つものの、「無駄と感ずることはない」が昨年比で大きく上昇
- 就活時に本当に知りたかった病院情報は「普通の職場内の雰囲気・人間関係」で 2 年連続トップ
- 就職先の決め手を 1 つだけ選択した場合のトップは「病院での現場体験」、続いて「給与・待遇面」「先輩の人柄」と続く
- 新卒の入職先から「理由もなく転職予定はない」「5 年以上働く予定」の学生は 47%で早期の転職傾向は減少
- 「30 歳になった時の理想の年収」は 500~700 万円が 50.5%と現実的な一方で、700~900 万円も昨年比でポイントアップ
- 奨学金を活用する学生は年々増加、看護学生の半数以上(54.5%)が利用している
- 奨学金の借入総額は年々増加傾向となっており、今年は301万円以上が最多

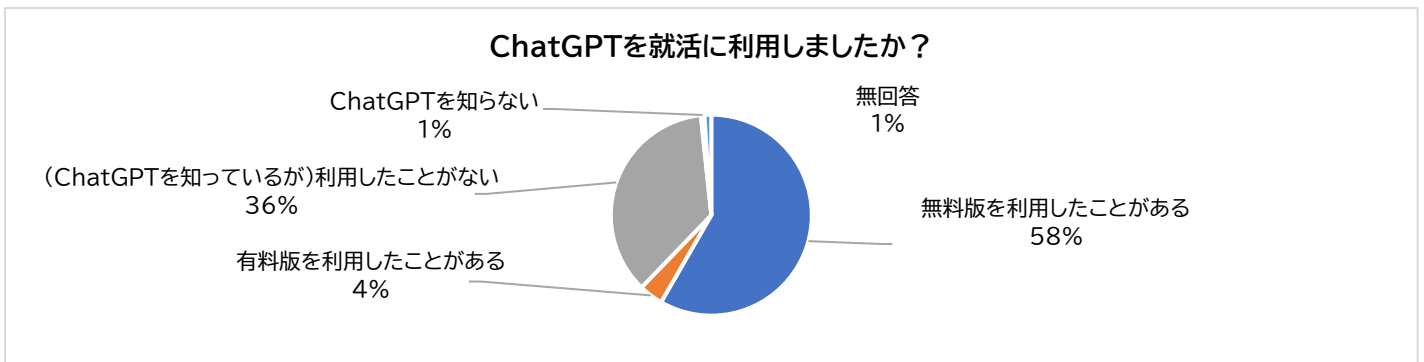
**就活の相談相手**

■就活を進める上で頼りになった相談相手は「学校の教員」が首位をキープ。「就職課・キャリアセンター」も今年は大きく上昇



看護学生にとっての教員への信頼は厚く、今年も「頼りになる相談相手」の首位に。続く、「看護師を目指す友人」「母親」「就職課・キャリアセンター」も票を伸ばした。ランキング下位ではあるが「父親」「兄弟姉妹」も昨年比でポイントアップ。自分を理解してくれる身近な人を頼りにしているようだ。

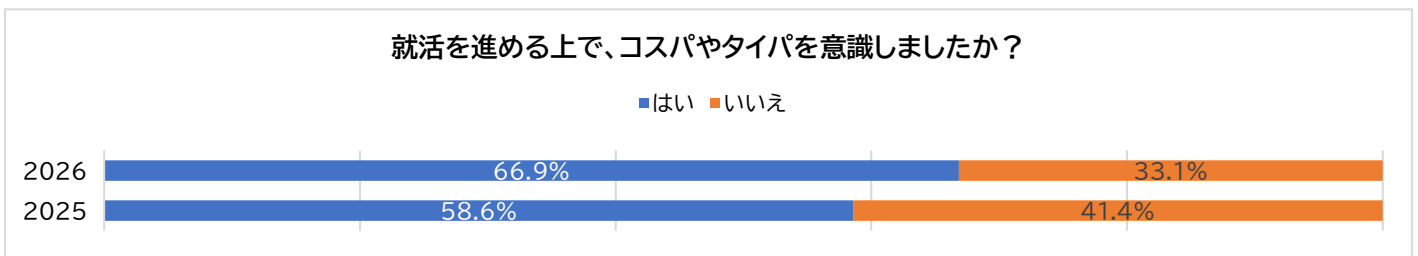
■ChatGPT を実際に就活に利用したのは 6 割程度にとどまる



学生生活で普及している ChatGPT だが、就活においては『自分自身の言葉』や『信頼できる人間からのアドバイス』を重視する傾向にあり、利用率は 6 割強にとどまっている。

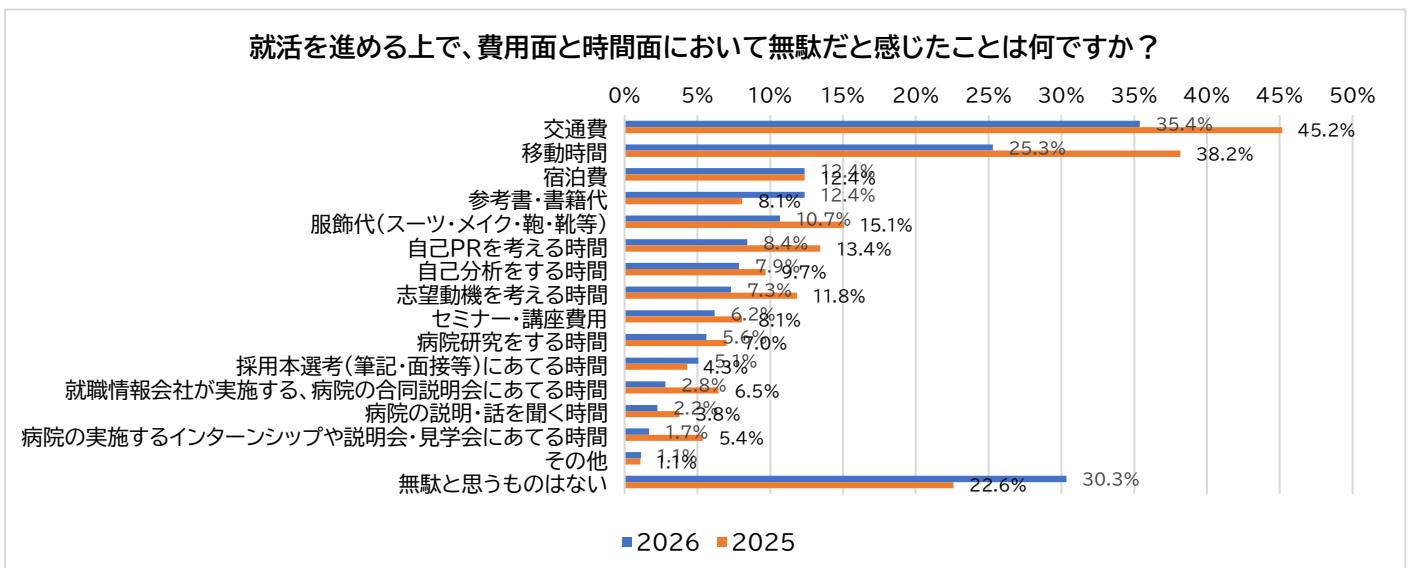
■就活を進める上でのコスパやタイパへの意識について

■就活においてタイパ・コスパの意識があるのは 7 割弱



7 割弱の学生が、タイパ(タイムパフォーマンス)とコスパ(コストパフォーマンス)を意識しており、昨年よりも 8.3pt アップ。就活においてコスパとタイパを意識しない学生が 3 割というのは多い印象もあるが、日常はともかく、効率(タイパ)を重視しつつも、病院選びという人生の岐路においては、無駄をいとわず真摯に向き合おうとする 26 卒の誠実な姿勢がうかがえる。

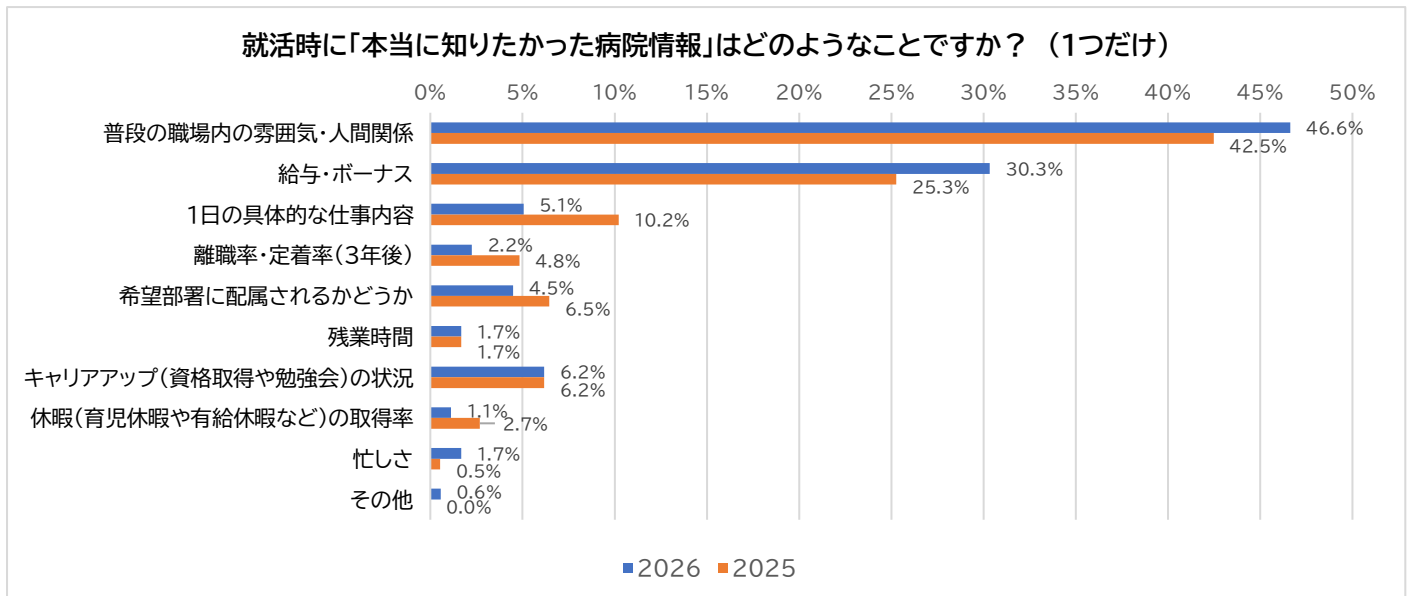
■就活においてのコスパ・タイパ感では「無駄と感じることはない」が昨年比で大きく上昇



多くの項目で無駄と感じるものが減少。遠方の学生がオンラインによる説明会等を選択できるようになり、宿泊や移動の金銭的負担が減少している側面もありそうだ。また、「就活において無駄だと思うものはない」が 7.7pt もアップ。就活に真面目に取り組む26卒の学生像が浮かぶ結果となった。

## 就活時に「本当に知りたかった病院情報」

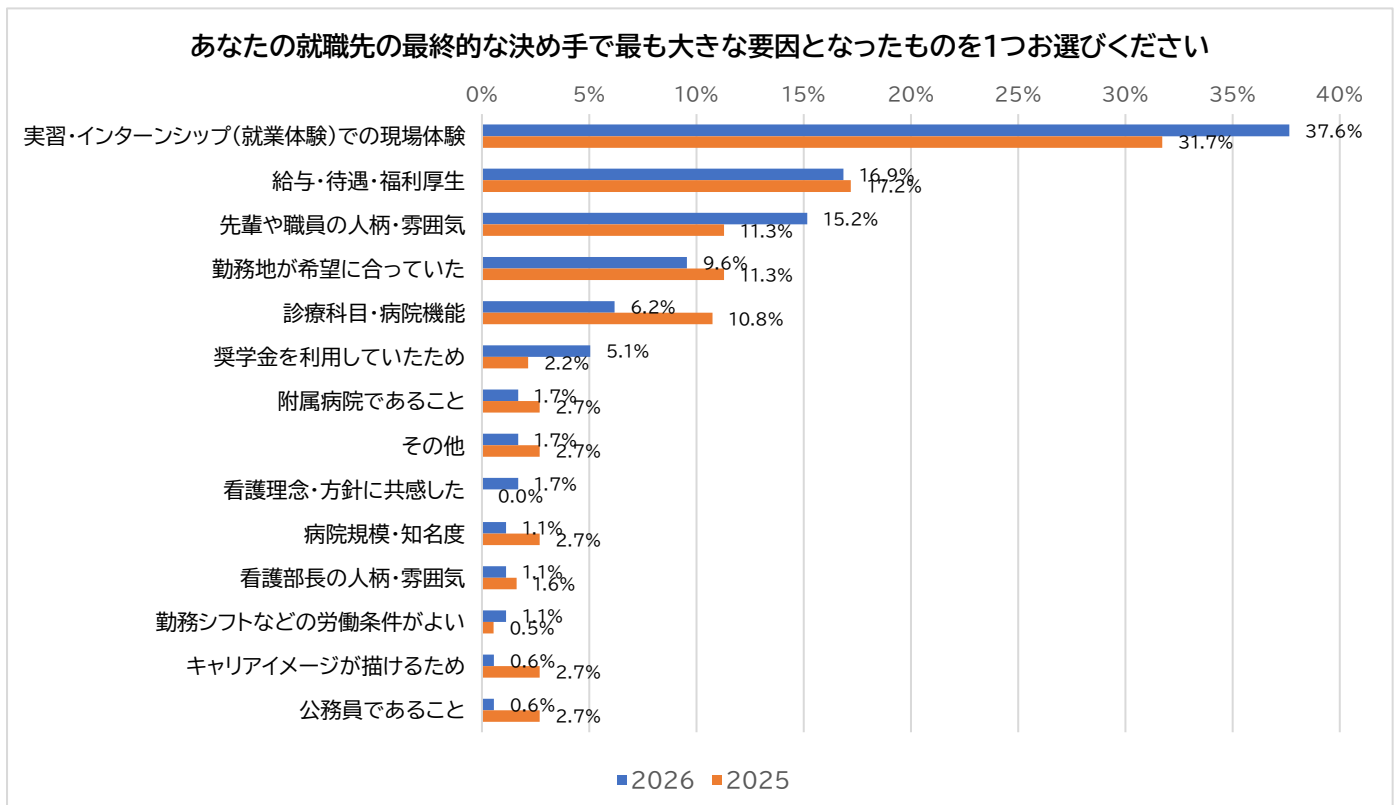
■就活時に本当に知りたかった病院情報は「普段の職場内の雰囲気・人間関係」で2年連続トップ



就活時に本当に知りたかった病院情報のトップは、昨年同様、「普段の職場内の雰囲気・人間関係」、「給与・ボーナス」。働く環境においても自分の居心地の良さを最優先する、26卒の学生の傾向が顕著に現れる結果となった。

## 就職先の最終的な決め手

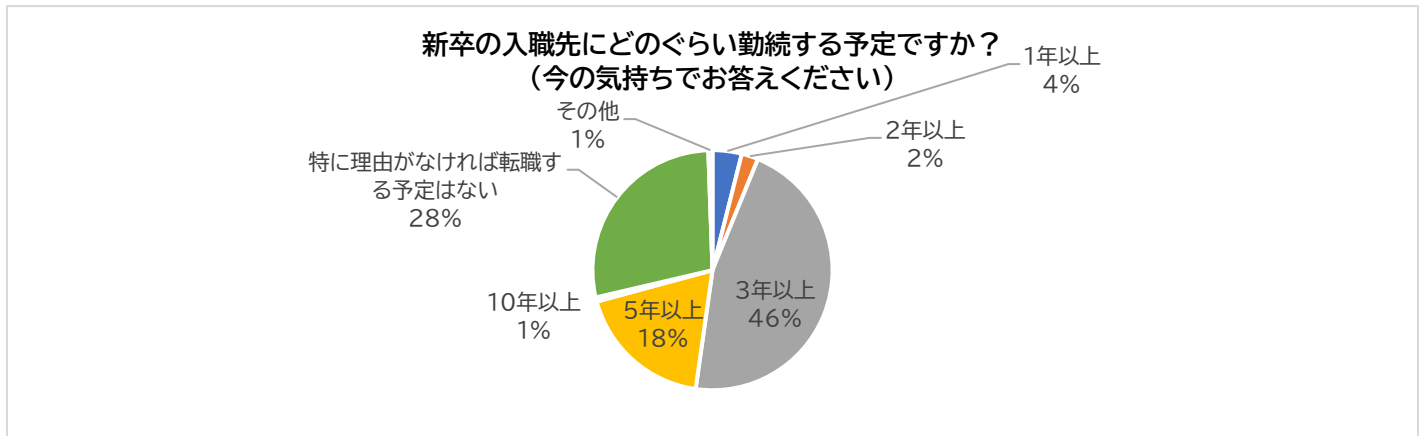
■就職先の決め手を1つだけ選択した場合のトップは「病院での現場体験」、続いて「給与・待遇面」「先輩の人柄」と続く



就職先の決め手は、「実習・インターンシップ(就業体験)での現場体験」が昨年比 5.9pt アップで首位に。26卒で大きくポイントがアップしたのは「先輩や職員の人柄・雰囲気」で、3.9pt アップ。現場の職場体験の感覚をもとに、良い人間関係のなかで日々心地よく働けるかどうかが決め手となっている(※前述の、「就活時に本当に知りたかった病院情報」の結果も同様)。

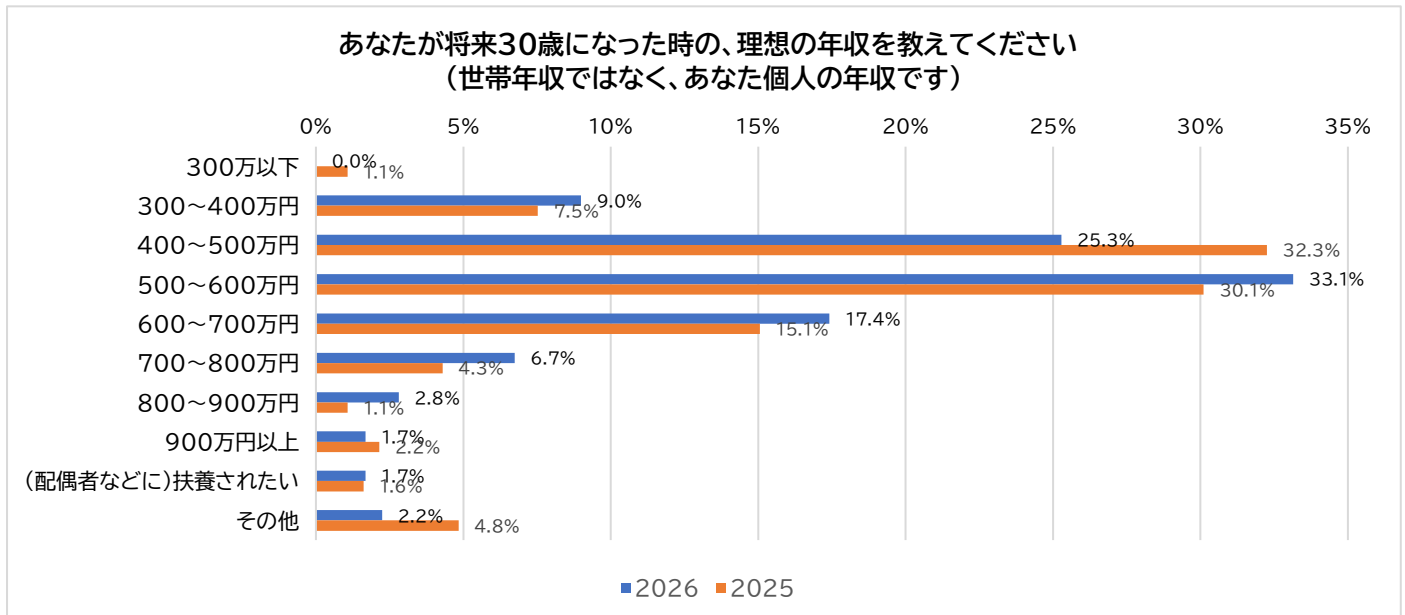
## 新卒入職先に働く予定の年数・30歳時の理想の年収について

■新卒の入職先から「理由もなく転職予定はない」「5年以上働く予定」の学生は47%で早期の転職傾向は減少



まずは新卒入職先で長く働きたいという安定・定着志向が鮮明になっており、早期離職を前提とした動きは抑制傾向にある。「理由もなく転職予定はない」「5年以上働く予定」の学生の合計が47%もあり、「3年以上」は46%、と全体的に安定志向の結果となった。

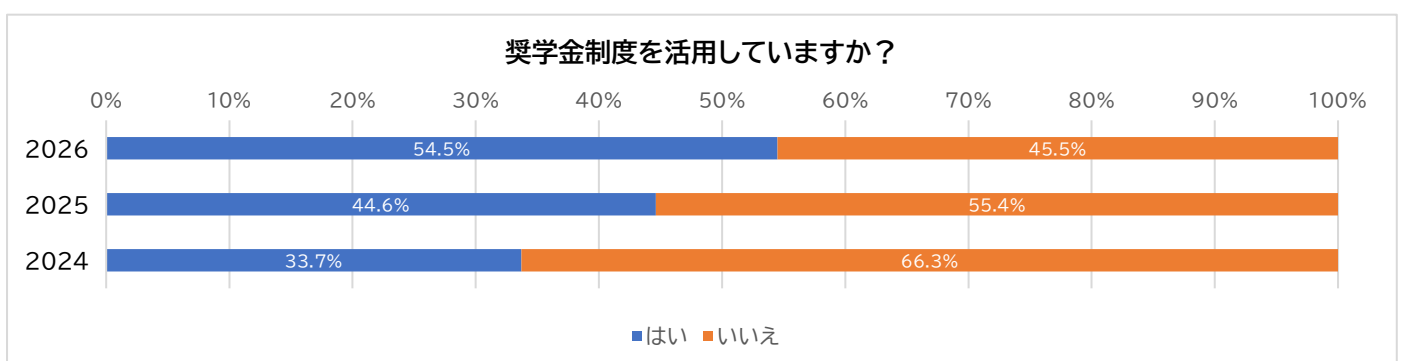
■「30歳になった時の理想の年収」は500～700万円が50.5%と現実的な一方で、700～900万円も昨年比でポイントアップ



500～600万円が最も多く、次いで400～500万円と続いた。世間の賃金アップの傾向もあり、500～900万円を選ぶ学生数が増加。全国的に平均的な年収とされる400～500万円は大きく減少し、7ptダウン。

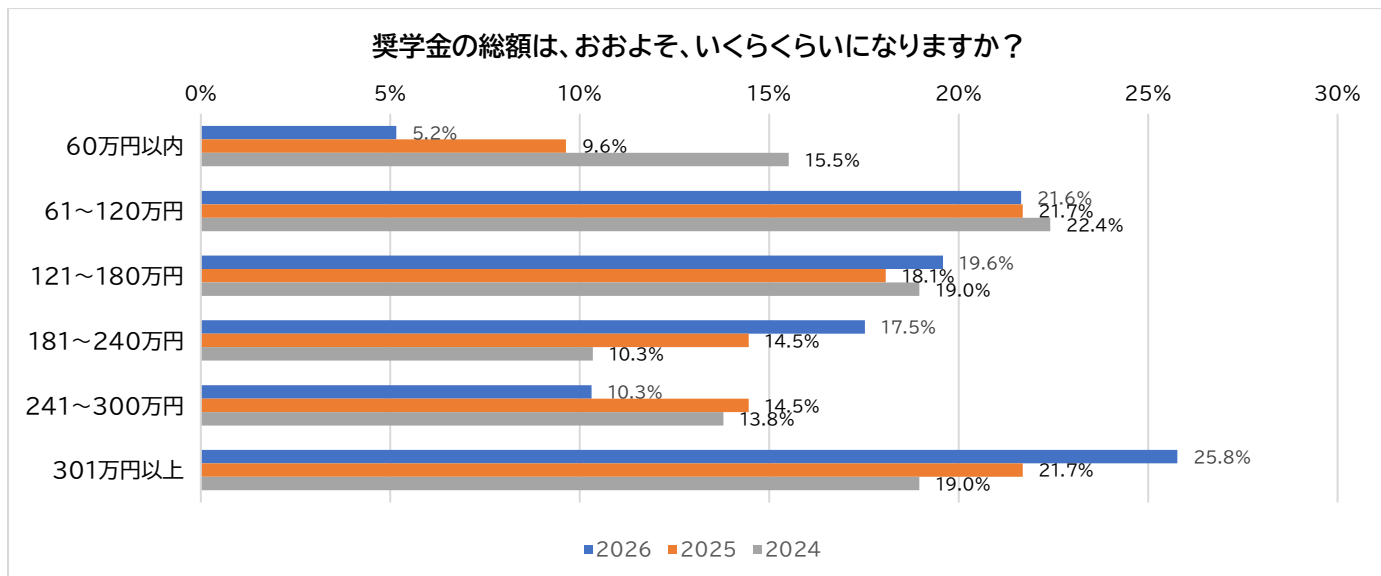
## 奨学金の利用状況について

■奨学金を活用する学生は年々増加、看護学生の半数以上(54.5%)が利用している



過去3年の調査結果を見ると、奨学金の利用者はここ3年間で1割ずつ増加。26卒では半数以上が何らかの奨学金を利用していたことがわかった。

■奨学金の借入総額は年々増加傾向となっており、今年は301万円以上が最多



卒業するまでの借入れ総額を見ると、「60万円以下」「61~120万円」という少額は減少しており、「301万円以上」がここ3年間で年々増加している。奨学金を借りる学生の53.6%は181万円以上借りており、そのうちの半数程度は301万円以上借りているという結果となった。

■調査概要

調査名：2026年卒看護学生対象 就職活動調査

調査対象：「文化放送ナースナビ」会員の2026年卒看護学生

調査期間：開始 2026/1/28～終了 2026/2/10

調査方法：「文化放送ナースナビ」会員へのWEBアンケート

有効回答数：178名

■本件に関するお問い合わせ先

企業名：株式会社文化放送キャリアパートナーズ「文化放送ナースナビ」編集部

担当者：門司(モンジ)

Email: [sjk@careerpartners.co.jp](mailto:sjk@careerpartners.co.jp)

URL: <https://www.careerpartners.co.jp/hospital/>